

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010101

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
商店街活性化事業		7,252 千円		千円	千円	千円	7,252 千円
産業経済部商業振興課							
根拠法令	苫小牧市商店街の活性化に関する条例						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	若者や高齢者などの多様なニーズに調和した魅力ある商店街づくりを目指し、まちの顔である中心商店街や地域商店街の活性化を図ります。						
事業の必要性	商店街の活性化に関する条例が施行され、現在商店会の組織基盤の強化を図るための加入促進活動を行う商店街組織が増えています。組合員の減少は自己資金・人材の確保の困難など、様々な問題の要因となりうることから、加入促進活動に関する支援など、今後も商店街活性化につながる市のバックアップが必要とされています。						
事業の内容	①商店街活性化事業 商店街活性化事業助成要綱に基づき、市内商店街組織の行う活性化目的の事業に補助を行う事業です。平成30年度は12商店街組織から応募があり、16件が採択されています。 また、商店街活性化事業が街のにぎわい創出に係る影響を調査委託し、今後の事業実施に活かしてまいります。 【平成30年度補助】 16件            3,527千円 【平成30年度委託料】            970千円  ②店舗改装費補助事業 店舗改装費補助金交付要綱に基づき、自店舗の魅力向上等につながる改装工事を行う者に対し、その一部を補助する事業です。平成30年度は6店舗から応募があり、6店舗全てが採択されています。 【平成30年度補助】 6件            2,755千円						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)			従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	7,252 千円	担当正規職員	5,239 千円			0.75 人	
人件費	5,239 千円	嘱託職員	千円			人	
総 計	12,491 千円	再任用 (フル)	千円			人	
		再任用 (ハーフ)	千円			人	
		任期付職員	千円			人	
		臨時職員	千円			人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度	
	商店街活性化事業補助金		件	16	17	11	
	店舗改装費補助金		件	6	7	10	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	平成29年度に商店街活性化補助金の補助率等の変更を行ってから、平成30年度も多くの商店会から事業の申請があり、商店街のにぎわい創出に寄与していると評価します。						
事業の課題、今後の方向性等	イベントや環境整備事業による事業実施時の集客は一時的なものが多く、新規顧客・リピーターの獲得に結びつけるために、事業調査結果をもとに今後の商店街活性化事業にどうフィードバックしていくかが、課題であると考えます。 今年度は、店舗改装費補助事業の対象工事を拡大したほか、市内全域を対象とした空き店舗活用による家賃補助（家賃の2分の1、上限3.5万円/月）を新設し、より使いやすい補助金制度になるよう、募集期間の拡大も含めて、取り組んでまいります。						
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010102

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
中心商店街活性化事業 産業経済部商業振興課		1,740	千円	千円	千円	千円	1,740 千円
根拠法令	苫小牧市商店街の活性化に関する条例						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	【目的】中心市街地の活性化を図るため、中心市街地内の空き店舗家賃補助や商店街等が行うイベント事業に対して補助金を支出し中心市街地の賑わいと集客を図ります。 【対象】中心商店街・商店主						
事業の必要性	まちの顔である中心商店街の活力を高めるため、新規出店の後押しや創業支援、イベントの支援などにより、にぎわいのあるまちづくりを進めることが必要です。						
事業の内容	<p>①空き店舗活用事業補助金 中心市街地に存在する空き店舗のシャッターを開け、商店街の連続性を保つことを目的に、空き店舗を活用して新規出店する事業者に対し、店舗賃借料の2分の1を補助（最長12ヶ月、1ヶ月補助上限5万円）又は店舗移転改装費（上限45万円）を補助するものです。 【平成30年度補助】 1,340,000円 ・店舗賃借料 6件： 890,000円 ・店舗改装費 1件： 450,000円</p> <p>②中心市街地活性化補助金 商店街振興組合等が中心市街地において、商業等の活性化目的として行う事業に対して補助を行うものです。 【平成30年度補助】 400,000円 ・百縁商店街事業： 200,000円 ・商連加入組合全道大会実施事業： 200,000円</p>						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	1,740 千円	担当正規職員	2,794 千円		0.4	人	
人件費	2,794 千円	嘱託職員	千円		人		
		再任用(フル)	千円		人		
総計	4,534 千円	再任用(ハーフ)	千円		人		
		任期付職員	千円		人		
		臨時職員	千円		人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度	
	空き店舗活用事業補助金(店舗賃借料)		件	6	3	3	
	空き店舗活用事業補助金(店舗改装費)		件	1	1	0	
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性(費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	平成30年度は、全体的に事業の利用状況は多くはありませんでしたが、これまでに中心市街地へ移転した各個店の多くは空き店舗活用事業を利用しており、中心市街地における空き店舗活用に大いに寄与しています。また、まちなかにおける創業支援という側面からも重要な制度です。						
事業の課題、今後の方向性等	空き店舗活用事業を利用した事業者が、継続的に営業し、中心商店街のにぎわい創出につながるよう事業終了後の調査を行っていますが、特に新規創業者には資金面での支援だけでなく、経営のノウハウ、必要な知識面についてなど、多方面からの支援やフォローアップが必要と考えます。						
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010103

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
中小企業振興資金貸付金		344,200 千円	千円	千円	344,200 千円	千円
産業経済部商業振興課						
根拠法令	苫小牧市中小企業振興条例					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	中小企業者等に対し、事業活動に必要な運転資金及び設備資金の融資の円滑化を図ることにより、経営基盤の強化及び経営の安定化を図ります。					
事業の必要性	当該融資制度は長きにわたって、中小企業者等の経営基盤を支えています。低金利での融資により、中小企業者等の資金需要に応じており、経営安定と事業の発展には欠かせない融資制度となっています。					
事業の内容	(1)融資対象 市内に独立した事業所を有し、かつ、市税を完納している中小企業者等 (2)融資金額及び期間 運転資金4,000万円以内(10年以内)、設備資金4,000万円以内(12年以内) (3)融資利率 1年以内 年1.2%、1年超5年以内 年1.7%、5年超 年1.8% (4)融資期間 運転資金 10年以内 設備資金 12年以内  ※対象業種 北海道信用保証協会対象業種					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	344,200 千円	担当正規職員	1,257 千円	0.18	人	
人件費	1,257 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用(フル)	千円		人	
総計	345,457 千円	再任用(ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	融資金額		千円	793,470	847,710	955,310
	融資件数		件	60	70	88
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性(費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	苫小牧商工会議所や市内金融機関等から情報収集を行い、新規創業者を含めた中小企業者等が利用できるよう、市内金融機関の本・支店を訪問し制度利用のための周知を行いました。					
事業の課題、今後の方向性等	景気変動や金融情勢などの理由から融資の見通し予測が困難ですが、中小企業者等のニーズに応えられるよう、利用者の声を拾い上げ、時代に即した融資制度を検討します。平成31年4月からは、事業継承に対するニーズの高まりを踏まえ、本資金において事業継承を目的とした株以外の資産取得が可能となりました。					
特記事項	決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は年度末に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010104

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
小規模企業経営改善資金貸付金		800,000 千円		千円	千円	800,000 千円	千円
産業経済部商業振興課							
根拠法令	苫小牧市中小企業振興条例						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	小規模企業者に対し、事業活動に必要な資金調達の円滑化を図り、経営の安定に資することを目的とします。						
事業の必要性	当該融資制度は長きにわたって、小規模企業者の経営基盤を支えています。低金利での融資により、小規模企業者の資金需要に応じており、経営安定と事業の発展には欠かせない融資制度となっています。						
事業の内容	(1)融資対象 常時使用する従業員数50人以下の会社及び個人で、市内に独立した事業所があり、かつ市税を完納していること (2)融資金額 運転資金 1,250万円以内 設備資金 1,500万円以内 (3)融資利率 1年以内 年0.7% 1年超 年1.3% (4)融資期間 運転資金 7年以内、設備資金 15年以内 (5)その他 資本金の額が1,000万円以下、かつ、常時使用従業員数が20人(宿泊業及び娯楽業を除く商業、サービス業にあつては5人、医業を主たる事業とする法人にあつては20人)以下の小企業者の信用保証料は申請により市で補給します。(上限30万円) ※利用条件 北海道信用保証協会の保証付が条件となります。						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	800,000 千円	担当正規職員	1,257 千円		0.18 人		
人件費	1,257 千円	嘱託職員	千円		人		
		再任用(フル)	千円		人		
総計	801,257 千円	再任用(ハーフ)	千円		人		
		任期付職員	千円		人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度	
	融資金額		千円	1,115,297	1,136,170	1,113,340	
融資件数		件	168	188	185		
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性(費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	苫小牧商工会議所や市内金融機関等から情報収集を行い、新規創業者を含めた中小企業者等が利用できるよう、市内金融機関の本・支店を訪問し制度利用のための周知を行いました。						
事業の課題、今後の方向性等	景気変動や金融情勢などの理由から融資の見通し予測が困難ですが、小規模企業者のニーズに応えられるよう、利用者の声を拾い上げ、時代に即した融資制度を検討します。平成31年4月からは、これまでの利用状況を踏まえ、限度額を2,000万円に引き上げました。						
特記事項	決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は年度末に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010105

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
中小企業協同化資金貸付金		80,000 千円		千円	千円	80,000 千円	千円
産業経済部商業振興課							
根拠法令	苫小牧市中小企業振興条例						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	中小企業者等の組合及び構成員の事業に必要な資金を融資するものです。						
事業の必要性	組合事業のための設備資金及び運転資金や、組合員の事業のための資金などに活用されており、組合事業の円滑な運営のために必要な融資です。						
事業の内容	<p>(1) 融資対象 事業協同組合、企業組合、商店街振興組合、協業組合、生活衛生同業組合等及び構成組合員である中小企業者を対象とします。</p> <p>(2) 融資条件 商工組合中央金庫の定めるところによります。</p> <p>(3) 申込場所 商工組合中央金庫札幌支店(代理店は北央信用組合の市内各支店)</p>						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	80,000	千円	担当正規職員	210	千円	0.03	人
人件費	210	千円	嘱託職員		千円		人
			再任用(フル)		千円		人
総計	80,210	千円	再任用(ハーフ)		千円		人
			任期付職員		千円		人
			臨時職員		千円		人
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	H30年度	H29年度	H28年度
	融資金額			千円	2,729,000	2,259,000	3,316,000
	融資件数			件	101	64	94
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性(費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	商工組合中央金庫札幌支店との連携により、当該制度の融資を実施しており、平成30年度は101件2,729百万円の融資を行っています。						
事業の課題、今後の方向性等	商工組合中央金庫の定めにより融資が実行され、市は一定額を商工組合中央金庫に預け入れています。今後も商工組合中央金庫の協力を得ながら、円滑な資金により中小企業者等の経営安定化を図ってまいります。						
特記事項	決算額は年度末に商工組合中央金庫に預け入れた額です。預入れは年度末に全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010106

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
中小企業機械等購入資金貸付金		3,400 千円		千円	千円	3,400 千円	千円
産業経済部商業振興課							
根拠法令	苫小牧市中小企業振興条例						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	中小企業等の設備の近代化、合理化を促進するために必要な機械等の購入資金を融資することにより、企業の振興、育成を図ります。						
事業の必要性	当該融資制度は長きにわたって、中小企業者等の経営基盤を支えています。低金利での融資により、中小企業者等の資金需要に応じており、経営安定と事業の発展には欠かせない融資制度となっています。						
事業の内容	(1) 融資対象 市内に独立した事業所を有し、1年以上同一事業を営み、かつ、市税を完納している中小企業等 (2) 資金用途 設備資金：生産、加工、試験または検査に使用する機械等の設置 (3) 融資金額 1企業 2,000万円以内 (4) 融資利率 年1.5% (5) 融資期間 10年以内  ※対象業種 北海道信用保証協会対象業種						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	3,400 千円	担当正規職員	489 千円		0.07 人		
人件費	489 千円	嘱託職員	千円		人		
		再任用 (フル)	千円		人		
総 計	3,889 千円	再任用 (ハーフ)	千円		人		
		任期付職員	千円		人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度	
	融資金額		千円	0	13,340	0	
		融資件数		件	0	1	0
自己評価	事業の有効性 (効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性 (費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	生産及び加工等に使用する機械等の設備に利用できる当該制度は、平成30年度末現在1件の利用があり、市内中小企業者等の資金需要に応じています。						
事業の課題、今後の方向性等	景気変動や金融情勢などの理由から融資の見通し予測が困難ですが、中小企業者等のニーズに応えられるよう、利用者の声を拾い上げ、時代に即した融資制度を検討します。						
特記事項	決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は年度末に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010107

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
店舗近代化設備資金貸付金		8,800 千円		千円	千円	8,800 千円	千円
産業経済部商業振興課							
根拠法令	苫小牧市中小企業振興条例						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	中小事業者の店舗近代化に必要な資金を融資することにより、中小商業経営の近代化促進と地域の景観整備に貢献し、その振興を図ります。						
事業の必要性	当該融資制度は長きにわたって、中小事業者の経営基盤を支えています。低金利での融資により、中小事業者の資金需要に応じており、経営安定と事業の発展には欠かせない融資制度となっています。						
事業の内容	<p>(1) 融資対象 市内に独立した店舗を有し、1年以上同じ事業を営み、市税を完納している中小事業者のうち資本の額が5千万円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が50人以下の物販小売業・飲食店を営む企業及び事業協同組合等。(自動車・燃料・農耕品の小売業を除く)組合については設立後1年未満であっても対象となります。</p> <p>(2) 資金使途 設備資金 ①店舗の新築、増改築資金 ②組合が行う共同店舗建設資金 ③テナント入店に要する内装設備資金 ④不動産等購入資金</p> <p>(3) 融資金額 1企業5,000万円以内、1組合8,000万円以内(テナント入店資金は2,000万円以内)</p> <p>(4) 融資利率 年1.3%</p> <p>(5) 融資期間 15年以内</p> <p>※対象業種 北海道信用保証協会対象業種</p>						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	8,800 千円	担当正規職員	489 千円		0.07 人		
人件費	489 千円	嘱託職員	千円		人		
		再任用(フル)	千円		人		
総計	9,289 千円	再任用(ハーフ)	千円		人		
		任期付職員	千円		人		
		臨時職員	千円		人		
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	H30年度	H29年度	H28年度
	融資金額			千円	0	0	0
	融資件数			件	0	0	0
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性(費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	店舗の新築及び増改築の設備資金として利用できる当該制度は、新規利用はないものの、平成30年度末現在2件の利用があり、市内中小事業者の資金需要に応じています。						
事業の課題、今後の方向性等	景気変動や金融情勢などの理由から融資の見通し予測が困難ですが、中小事業者のニーズに応えられるよう、利用者の声を拾い上げ、時代に即した融資制度を検討します。						
特記事項	決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は年度末に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010108

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
中小企業環境保全施設資金貸付金		12,800 千円		千円	千円	12,800 千円	千円
産業経済部商業振興課							
根拠法令	苫小牧市中小企業振興条例						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	中小企業者等が、その事業活動に伴って発生する公害を処理又は防止するための施設整備資金、環境への負荷の低減や環境の保全に資するための施設整備資金を融資することにより、環境保全対策の推進を図り、市民の生活環境を向上させ、企業の振興を図ります。						
事業の必要性	当該融資制度は長きにわたって、中小企業者等の経営基盤を支えています。低金利での融資により、中小企業者等の資金需要に応じており、環境対策に積極的な中小企業者等に欠かせない融資制度となっています。						
事業の内容	(1)融資対象 市内に独立した事業所を有し、1年以上同じ事業を営み、市税を完納している中小企業及び関係法令により設立許可を受けた組合等。 (2)融資金額 ●設備資金/移転資金 1件につき3,000万円以内 ・公害防止又は改善のために必要な機械等の購入及び施設の設置に要する経費 ・公害防止のために工場、事業場などを移転するための建設、設置等に要する経費 ・産業廃棄物の処理、資源化若しくは再利用のために必要な施設の設置又は改善に要する経費 ・地球温暖化防止に有効な施設等を導入する経費 ・自然エネルギーを活用する施設を導入する経費 ●低公害車導入資金 1企業につき2,000万円以内 ・環境に優しい電気自動車、ハイブリッド車、天然ガス車、LPガス車等の購入経費及びその燃料供給施設設置経費 (3)融資利率 年1.1% (4)融資期間 10年以内 ※対象業種 北海道信用保証協会対象業種						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	12,800 千円	担当正規職員	489 千円		0.07 人		
人件費	489 千円	嘱託職員	千円		人		
		再任用(フル)	千円		人		
総計	13,289 千円	再任用(ハーフ)	千円		人		
		任期付職員	千円		人		
		臨時職員	千円		人		
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	H30年度	H29年度	H28年度
	融資金額			千円	0	0	10,000
	融資件数			件	0	0	1
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性(費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	環境対策に伴う設備資金に利用できる当該制度は、新規利用はないものの、平成30年度末現在4件の利用があり、市内中小企業者の資金需要に応じています。						
事業の課題、今後の方向性等	景気変動や金融情勢などの理由から融資の見通し予測が困難ですが、中小企業者のニーズに応えられるよう、利用者の声を拾い上げ、時代に即した融資制度を検討します。						
特記事項	決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は年度末に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。						



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010109

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
小規模企業経営改善資金信用保証料補給金 産業経済部商業振興課		14,783	千円	千円	千円	千円	14,783 千円
根拠法令	苫小牧市中小企業振興条例						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	小規模企業経営改善資金を借り入れたときに、北海道信用保証協会へ支払う信用保証料を補給することにより、小規模企業者の健全な経営に資することを目的とします。						
事業の必要性	信用保証料の補給は、小規模企業者が資金を借り入れる際の負担軽減となり、資金繰り円滑化の一助となっています。						
事業の内容	<p>(1) 信用保証料の補給対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資本金の額が1,000万円以下、かつ、常時使用する従業員の数が20人(宿泊業及び娯楽業を除く商業及びサービス業にあっては5人、医業を主たる事業とする法人は20人)以下の会社又は個人</li> <li>・ 小規模企業経営改善資金に限る</li> <li>・ 運転資金と設備資金の資金用途ごとに区分して、それぞれ適用します。</li> </ul> <p>(2) 信用保証料の限度額</p> <p>運転資金及び設備資金、それぞれ30万円を限度に補給します。</p> <p>(3) 信用保証料の補給金の返納</p> <p>信用保証料の補給を受けた小規模企業者が、約定貸付期間を繰り上げて完済し、北海道信用保証協会から信用保証料の返戻を受けたときは、その返戻分について返納するものとします。</p>						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	14,783	千円	担当正規職員	2,096	千円	0.3	人
人件費	2,096	千円	嘱託職員	千円			人
			再任用(フル)	千円			人
総計	16,879	千円	再任用(ハーフ)	千円			人
			任期付職員	千円			人
			臨時職員	千円			人
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	H30年度	H29年度	H28年度
	補給金額			千円	14,783	17,734	17,560
	補給件数			件	128	143	145
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性(費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	小規模企業経営改善資金の事業歴条件撤廃に伴い、新規創業者の当該信用保証料補給の利用が可能になっています。また、市内金融機関の本・支店を訪問し制度利用のための周知を行いました。						
事業の課題、今後の方向性等	信用保証料の補給制度が、小規模企業経営改善資金の融資を円滑にし、小規模企業者の振興に果たしてきたこれまでの役割を踏まえ、今後も、各金融機関や中小企業相談所と連携し周知を図ります。						
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010110

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
中小企業振興事業		4,665 千円		千円	千円	千円	4,665 千円
産業経済部商業振興課							
根拠法令	苫小牧市中小企業振興条例						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	中小企業振興条例に基づき、中小企業の振興に関する基本的事項について、実態やニーズを汲み取る形で検討する苫小牧市中小企業振興審議会を開催し、中小企業振興を推進します。また、創業計画から創業後の経営基盤の強化まで一貫したフォローを行う「創業サポート事業」を実施し、苫小牧市の経済を担う新たな中小企業者の育成を図ります。						
事業の必要性	中小企業の振興が、産業及び地域経済の発展、市民生活の向上に寄与しているため、継続した取り組みが必要となっています。また、「苫小牧市中小企業振興条例」の基本方針に「中小企業者等の創業の促進」を明記しており、新規創業者に対する支援として継続した取り組みが必要となっています。						
事業の内容	<p>○中小企業振興審議会の開催 第3期目となる本審議会は、平成29年6月に15名の委員を委嘱し、平成30年度は5回の審議会及び延べ12回の部会を実施しています。平成30年度の活動としては、同年度に完成した「苫小牧市中小企業振興計画」の計画別冊作成について、また第4期審議会への引継ぎ事項について議論を重ねました。</p> <p>○創業サポート事業 創業希望者または創業間もない創業者を対象に、中小企業診断士の資格を持つ講師が創業の心得や事業計画の作成方法などのセミナーを行います。これらは苫小牧商工会議所・苫小牧市男女平等参画推進センターと連携して開催し、創業後の経営相談までを一貫してフォローします。また、新規創業セミナーの受講者が年度内に市内で開業した場合には、創業に係る一部経費を補助します。</p> <p>【補助金】1事業 上限30万円 補助率10/10</p>						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	4,665 千円	担当正規職員	6,985 千円		1 人		
人件費	6,985 千円	嘱託職員	千円		人		
総 計	11,650 千円	再任用 (フル)	千円		人		
		再任用 (ハーフ)	千円		人		
		任期付職員	千円		人		
		臨時職員	千円		人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度	
	中小企業振興審議会		回	5	5	5	
	新規創業セミナー参加者		人	69	44	46	
	創業サポート事業補助金支出額		千円	3,389	2,700	2,087	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	第3期審議会（平成29年6月～令和元年5月）では、委員の意見をもとに「苫小牧市中小企業振興計画」の別冊を作成し、また審議会や3つの部会では市の施策などを議論し、第4期へつながる報告書を作成することができました。 また「新規創業セミナー」では、創業に必要な知識や、経営を軌道に乗せるための知識を習得できること、また受講者は創業経費補助を受けられることから、市内で新規創業を目指す方にとって非常に有用であり、費用に見合った効果を得ていると認識しています。						
事業の課題、今後の方向性等	中小企業者等の課題解決に向け、審議会及び各団体等と連携し中小企業振興施策を検討・実践することが必要と考えています。今後は、中小企業振興計画を踏まえ、具体的な振興施策を実施できるよう取り組んでいきます。また、本計画における主要事業の1つである「創業支援」の具体的な施策として「創業サポート事業」を継続し、市の未来を担う中小企業経営者を育成・支援できるよう取り組んでまいります。						
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010111

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳																																														
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源																																											
中小企業人材育成補助		217 千円		千円	千円	千円	217 千円																																											
産業経済部工業・雇用振興課																																																		
根拠法令																																																		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																																																
事業の目的・対象		中小企業の人材育成を促進するため、中小企業大学校旭川校など、独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催する研修事業に従業員等を受講させる場合、受講料の一部を補助します。																																																
事業の必要性		市内中小企業は、時間的にも人員的にも余裕がないため、人材育成及び能力開発を支援することが必要です。																																																
事業の内容		<p>○中小企業人材育成補助金            中小企業が経営力・技術力強化のため社員を派遣する講座の受講料の一部を補助しました。</p> <p>・補助対象            (1)本市に事業所又は事務所がある中小企業者であること            (2)本市の市税に滞納がないこと            (3)独立行政法人中小企業基盤整備機構の主催する研修事業を受けること</p> <p>・支給額            対象者1名の研修費2万円を補助します。            ※研修費が2万円を超えない場合は、その実額            なお、1事業所につき年間10万円を上限とします。</p>																																																
コスト		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="4">人件費</th> </tr> <tr> <th>職員構成</th> <th colspan="2">概算人件費 (平均給与×従事職員数)</th> <th>従事職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事業費 (H30年度決算額)</td> <td>217 千円</td> <td>担当正規職員</td> <td colspan="2">699 千円</td> <td>0.1 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>嘱託職員</td> <td colspan="2">千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>699 千円</td> <td>再任用 (フル)</td> <td colspan="2">千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再任用 (ハーフ)</td> <td colspan="2">千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">総 計</td> <td>916 千円</td> <td>任期付職員</td> <td colspan="2">千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>臨時職員</td> <td colspan="2">千円</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>								人件費				職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	事業費 (H30年度決算額)	217 千円	担当正規職員	699 千円		0.1 人		嘱託職員	千円		人	人件費	699 千円	再任用 (フル)	千円		人		再任用 (ハーフ)	千円		人	総 計	916 千円	任期付職員	千円		人		臨時職員	千円		人
		人件費																																																
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数																																													
事業費 (H30年度決算額)	217 千円	担当正規職員	699 千円		0.1 人																																													
		嘱託職員	千円		人																																													
人件費	699 千円	再任用 (フル)	千円		人																																													
		再任用 (ハーフ)	千円		人																																													
総 計	916 千円	任期付職員	千円		人																																													
		臨時職員	千円		人																																													
評価指標 (事業実績)		指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度																																											
		研修受講人数		人	13	14	17																																											
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																														
		事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																														
自己評価の理由		中小企業の人材育成及び経営基盤の強化が図られ、中小企業の振興に寄与しています。																																																
事業の課題、今後の方向性等		中小企業の人材育成を支援するため、事業の継続が必要です。令和元年度には、市内でサテライトゼミを開催し、受講者の距離的・時間的負担を軽減し、受講の促進を図ります。また、Web会議システムを利用した研修も対象とし、企業の人材育成に向けた取組を支援してまいります。																																																
特記事項																																																		

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010112

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
苫小牧ゾーン高度技術産業集積活性化事業補助 産業経済部工業・雇用振興課		1,000	千円	千円	千円	千円	1,000 千円
根拠法令							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象		中小企業新事業活動促進法に基づき北海道が策定した「北海道事業環境整備構想」において位置付けられた「高度技術産学連携地域」の道央地域における苫小牧ゾーンの産業振興のため、（公財）道央産業振興財団が実施する事業に対して補助を行い、苫小牧ゾーンにおける高度技術産業の集積を促進します。					
事業の必要性		苫小牧ゾーンは「北海道事業環境整備構想」の「高度技術産学連携地域」において、大規模な工業集積が見込まれている地域となっています。また自動車関連産業に関連する部品産業への波及効果が期待されるほか、資源循環型産業の集積も図られており、バイオ産業の立地も進められていることから「北海道事業環境整備構想」の推進にあたり、多くの地域産業支援策が必要です。					
事業の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官金連携事業 ものづくり産業振興のため、苫小牧地域産学官金の関係機関と連携をしながら、苫小牧地域産学官金が実施する講演会や情報交換会等へ参画し、中小企業の取組を支援しました。</li> <li>・企業誘致活動推進事業 苫小牧地区企業誘致連絡協議会と連携し、企業訪問による企業誘致活動や各種フェア・セミナー等への出展による企業誘致活動等に取り組みました。</li> <li>・調査事業等 苫小牧地域の企業を対象に、技術コーディネーターが巡回、あるいは来所対応によって、研究開発上の問題点、技術の高度化に対する助言、学術・試験研究機関への仲介、斡旋等を行うとともに、地域企業の課題や要望等の実態を把握しました。</li> </ul>					
コスト		人件費					
				職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	1,000 千円	}	担当正規職員	千円	人		
人件費	千円		嘱託職員	千円	人		
総 計	1,000 千円		再任用 (フル)	千円	人		
			再任用 (ハーフ)	千円	人		
			任期付職員	千円	人		
			臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)		指標名	単位	H30年度	H29年度	H28年度	
		講演会等参加者数	人	210	62	84	
		企業誘致活動（訪問企業数）	社	31	31	18	
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
		事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由		産学官金連携事業や企業誘致活動推進事業、調査事業により、苫小牧ゾーンにおける高度技術産業の集積に寄与しています。					
事業の課題、今後の方向性等		令和元年度からは、苫小牧地域産業力強化補助金として見直し、（公財）道央産業振興財団がもつ産学官金のネットワークを活用した企業ニーズの把握や技術支援、各種制度活用支援を継続するとともに、事業説明会の開催や、チラシの作成、配布など財団の周知・広報活動を促進し、地域産業を支援してまいります。					
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010113

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
産学官連携共同研究事業補助		1,000 千円	千円	千円	千円	1,000 千円
産業経済部工業・雇用振興課						
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		地元企業等における研究開発や製品開発を支援するため、（公財）道央産業振興財団が行う共同研究に対し、補助金を交付します。				
事業の必要性		専門知識及び設備・機器を活用し、地元企業等から依頼された技術的課題に取り組み、問題解決にあたることで、地域産業の活性化に寄与しています。				
事業の内容		平成30年度共同研究実績 1 共同研究企業 株式会社日邦バルブ 研究テーマ 「ロストワックス技術を用いたステンレス製品の鋳造品質向上に関する研究」 2 共同研究企業 マルゼン食品株式会社 研究テーマ 「ホッキ貝蓄養水槽にて使用する海水の濾過法に関する研究」				
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	1,000 千円	担当正規職員	千円	人		
		嘱託職員	千円	人		
人件費	千円	再任用 (フル)	千円	人		
		再任用 (ハーフ)	千円	人		
総計	1,000 千円	任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	共同研究数		件	2	2	3
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	地元企業等の技術的課題に取り組み、研究開発や製品開発を支援しています。					
事業の課題、今後の方向性等	令和元年度からは、中小企業の技術支援体制の強化を図るため、共同で技術研究に取り組む中小企業に対し市が直接補助する「共同研究支援事業」として見直し、企業の新製品・新技術の開発等を支援してまいります。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010114

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
地方創生地域コミュニティ活性化支援事業 産業経済部商業振興課		37,117 千円	千円	千円	2,859 千円	34,258 千円
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		本事業は、市総合戦略の基本目標のひとつ「地元の魅力強化、暮らしやすさ発信で移住を促進」の事業として、苫小牧市限定の地域完結型のポイントを活用することで、市外への買い物流出を抑制し、本市経済の活性化につなげるとともに、市が実施する事業に対する関心を高めていくものです。				
事業の必要性		人口減少・高齢化が同時進行し、経済活動が収縮していく時代の中で、地域内で消費を循環させる仕組みを構築する必要があります。				
事業の内容		<p>地方創生地域コミュニティ活性化支援補助金交付要綱及び苫小牧市とまチョップポイント付与等に関する要綱に基づき、苫小牧市限定の地域完結型ポイントを活用する事業を支援する事業です。</p> <p>実施主体は苫小牧市商店街振興組合連合会であり、とまチョップポイント事務局が運営を担っております。</p> <p>①加盟店の開発 ②加盟店に対するフォローアップ ③加盟店や市が発行したポイントの管理・精算 ④利用促進のためのイベントの運営・企画 ⑤ポイントシステムの導入</p> <p>【平成30年度補助】 15,517千円</p> <p>市の取り組みとしては、次のとおり実施しております。</p> <p>①イベント等でのポイント発行 ②広報とまこまい、ホームページを活用した事業の周知</p> <p>【平成30年度実績】 21,600千円（役務費 手数料）</p>				
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	37,117 千円	担当正規職員	5,937 千円		0.85 人	
人件費	5,937 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用(フル)	千円		人	
		再任用(ハーフ)	千円		人	
総計	43,054 千円	任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	加盟店数		店	213	215	204
	カード発行枚数		枚	48,588	41,859	30,309
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由		加盟店舗数については前年度から比べ減少という結果となりましたが、目標数値の8割を維持し続けていることから、一定程度の有効性・効率性を得ていると考えています。				
事業の課題、今後の方向性等		導入（平成28年8月）から現在までの3ヶ年の事業結果や効果に係る検証結果に基づき、事業内容や運営体制などの見直しを図ってまいります。				
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010115

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
中小企業振興計画推進事業		417 千円		千円	千円	千円	417 千円
産業経済部商業振興課							
根拠法令	苫小牧市中小企業振興条例						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	平成30年4月に策定した「中小企業振興計画」に沿った事業を実施することにより、同計画の周知・推進を図り、中小企業振興を促進することを目的とします。						
事業の必要性	中小企業振興は市、経済団体、中小企業者、大企業、市民が協働して推進しなければならないため、中小企業振興計画を広く各主体に周知する必要があります。また、先行き不透明な経済情勢が続く中、販路拡大へと舵を切る中小企業を後押しするため、有効的な中小企業振興策を実施することが必要です。						
事業の内容	<p>○販路拡大セミナー                      中小企業者を対象に、外部講師より商品の開発やPR方法、またアジアを中心とした海外への商品輸出に関するセミナーを実施します。セミナーに参加する中小企業者に対し、営業力の底上げを行い、販路拡大を後押しします。</p>						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	417	千円	担当正規職員	699 千円		0.1	人
人件費	699	千円	嘱託職員	千円			人
			再任用(フル)	千円			人
総計	1,116	千円	再任用(ハーフ)	千円			人
			任期付職員	千円			人
			臨時職員	千円			人
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	H30年度	H29年度	H28年度
	セミナー参加者数			人	61		
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性(費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	平成30年10月10日(水)、グランドホテルニュー王子で開催した販路拡大セミナーは、講師に姉妹である青山夕香さん・青山千景さん及び(一社)北海道国際流通機構の鳥取代表理事を招き実施しました。参加者は61名で、参加者からの感想もおおむね好評でした。						
事業の課題、今後の方向性等	本セミナーに参加した中小企業振興審議会委員からは、セミナー後に講師との名刺交換のセッティングや、補助金等の案内など、フォローも必要であるとの声が上がりました。こうした反省を踏まえ、今後も中小企業振興計画の柱である「創業促進」「人材確保・育成、事業承継」「販路拡大」に係る事業を展開し、継続した中小企業振興を実現してまいります。						
特記事項	平成31年度より、本事業は「中小企業振興事業費」に統合されます。中小企業振興施策は継続して実施します。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 1商工振興費

事務事業番号 07010116

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
地域ポイント活用地元商店活性化事業 産業経済部商業振興課		7,396 千円	千円	千円	千円	7,396 千円
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		市外への顧客流出の制御や地域商店の活性化を図り、商店街を活性化させることを目的とする事業です。				
事業の必要性		ポイントの循環並びにカード会員の拡大及びカード利用の促進を図るとともに、加盟店の拡大を図るきっかけをつくる必要があります。				
事業の内容		<p>苫小牧市商店街振興組合連合会が【地方創生地域コミュニティ活性化支援事業の経済効果が地域商店街にも波及すること】を目的に行った「地域ポイント活用地元商店活性化事業（とまチョップポイント宝くじキャンペーン）」に対して補助を行いました。</p> <p>※「とまチョップポイント宝くじキャンペーン」は、商品購入によるとまチョップポイントの付与に加え、高額ポイントを景品とすることで、ポイントの循環並びに“とまチョップポイントカード会員”の拡大及びカード利用の促進を図るとともに“とまチョップポイント加盟店”の拡大を図ります。</p>				
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	7,396 千円	担当正規職員	1,048 千円		0.15 人	
人件費	1,048 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	8,444 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由		<p>苫小牧市商店街振興組合連合会からは、キャンペーン期間である平成30年10月1日から平成31年2月28日までの間に、とまチョップポイントにかかる売上が推計で約6,700万円であったとの報告を受けており、とまチョップポイント事業の経済効果が地域商店街にも一定程度波及したと考えています。</p>				
事業の課題、今後の方向性等		単年度事業のため、次年度の実施はありません。				
特記事項						



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010201

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
苦小牧港管理組合負担金		719,357 千円	千円	千円	千円	719,357 千円
産業経済部港湾・企業振興課						
根拠法令	苦小牧港管理組合同規約					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	苦小牧港の港湾整備に要する事業経費、苦小牧港管理組合の管理運営などに要する経費と港湾に係る収入、国の支出金等の収支不足分を苦小牧港管理組合同規約に基づき、北海道と苦小牧市の負担金として持分負担します。					
事業の必要性	国際拠点港湾である苦小牧港の港湾機能の充実を図り、効率的な利用ができる港湾として整備を進めることで、地域の産業経済の活性化を図ります。					
事業の内容	<p>主な事業 ●南ふ頭岸壁改良 国内幹線物流機能確保のための整備(令和2年度完成予定) ※複合一貫輸送ターミナル改良事業:平成23年度から実施</p> <p>&lt;整備前&gt;  &lt;現在&gt;  &lt;整備後&gt;  ※参考西ふ頭完成図</p> <p>●汐見地区屋根付き岸壁 水産物の品質確保及び就労環境改善のための整備(令和元年度完成)    ●外郭施設東防波堤改良 港内の静穏度を確保するための整備</p> <p>&lt;整備前&gt;  &lt;整備後&gt;     &lt;整備前&gt;  &lt;整備後&gt; </p>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	719,357 千円	担当正規職員	3,493 千円		0.5 人	
人件費	3,493 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	722,850 千円	再任用(フル)	千円		人	
		再任用(ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	取扱貨物量(外貿)		千 t	17,549	18,934	17,032
	取扱貨物量(内貿)		千 t	89,895	90,433	88,570
	取扱貨物量(合計)		千 t	107,444	109,367	105,602
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性(費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	西港区本港地区におけるROROターミナルの整備のため、西ふ頭の整備に引き続き南ふ頭の老朽化した岸壁の改良と陳腐化した上屋の撤去を行いました。背後スペースの確保により、荷役の安全性及び効率化が図られ、令和2年度に完成予定です。汐見地区においては、屋根付き岸壁の整備が進められ、水産物の品質確保や就労環境の改善が図られました。西港区内の静穏度の確保に必要な東防波堤においては、供用から40年以上経過し機能低下が懸念されていたことから修繕を実施しました。					
事業の課題、今後の方向性等	国際競争力を高めるための港湾物流機能の強化、効率化が不可欠です。そのためには、施設の老朽化対策及び大規模災害に備えた港湾整備を進めるとともに、輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するため、東港区の背後地に竣工する大型温度管理型冷凍冷蔵倉庫と連携したロジスティクス機能の強化に資する港湾整備を進めていきます。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010202

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
企業立地振興条例助成		283,543 千円	千円	千円	千円	283,543 千円
産業経済部港湾・企業振興課						
根拠法令	苫小牧市企業立地振興条例					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	事業場の新設・増設、それに伴う新規雇用、緑化事業を行ったものに対し、助成金の交付を行い、もって地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図り、本市の発展に寄与します。					
事業の必要性	少子高齢化による人口減少などを背景に、企業誘致による地域経済の活性化及び雇用機会の拡大はより重要性が増している状況です。企業立地振興条例に基づく助成金は、企業誘致のための重要な手段の一つとして、必要性の高いものとなっております。					
事業の内容	1 事業場設置助成金 事業場の新增設を行った企業に対し、2～3年分の固定資産税相当額を助成します。 ※ 3年間に分割して交付します。  2 雇用助成金 事業場の新增設に伴う新規雇用に対し、1人につき30万円助成します。  3 緑化助成金 事業場の新增設に伴う緑化工事に対し、緑化に要した費用の30%を助成します。					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	283,543 千円	担当正規職員	4,191 千円	0.6 人		
人件費	4,191 千円	嘱託職員	千円	人		
総 計	287,734 千円	再任用 (フル)	千円	人		
		再任用 (ハーフ)	千円	人		
		任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	事業場設置助成金		千円	252,943	328,336	340,008
	雇用助成金		千円	30,600	24,300	10,200
緑化助成金		千円	0	6,863	20,733	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	企業立地振興条例については、これまでも時代背景や経済状況などに応じ、助成要件の緩和や対象業種の拡大を図っています。その結果多くの企業にも活用いただき、新たな設備投資や雇用の創出につながっております。					
事業の課題、今後の方向性等	今後も進出を考える企業などに積極的にPRするとともに、新たな産業や今後成長が見込まれる産業等対象業種の追加・要件の改正など検討し、経済の動向や効果を勘案しながら柔軟に対応してまいります。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010203

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳																																																			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源																																																
苦小牧CCS促進協議会負担金		500	千円	千円	千円	千円	500 千円																																																
産業経済部港湾・企業振興課																																																							
根拠法令																																																							
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																																																							
事業の目的・対象		市民や地元企業などに対して、二酸化炭素の回収貯留（以下「CCS」）の実証試験に対する理解と気運の醸成を図ります。																																																					
事業の必要性		将来において苦小牧が、地球環境と地域産業の活性化との両立可能な低炭素社会構築に向けて先導的な役割を担うため、市民や地元企業など地域一体となった取組を推進します。																																																					
事業の内容		<p>1 機関紙「苦小牧CCS促進協議会通信Vol.9」発行 機関紙を発行し、事業の進捗状況や活動等について掲載しました。</p> <p>2 市庁舎に設置したモニターでの情報公開やパネル展等への後援・協力 パネル展実施場所：イオン苦小牧店、とまこまいStyle、北海道庁等</p> <p>3 子ども向け実験教室・夏休み宿題教室等への後援・協力 場 所：苦小牧CCS実証試験センター、市内児童センター</p> <p>4 CCS講演会「地球温暖化とCCS」の開催（経済産業省との共催） 場 所：グランドホテルニュー王子 対象：一般市民等 講演者：経済産業省 産業技術環境局 地球環境連携室長 川口 征洋 氏 アルピニスト 野口 健 氏</p> <p>5 CCS促進協議会「地上設備見学会」 場 所：苦小牧CCS実証試験センター 対象：CCS促進協議会の会員・オブザーバー</p>																																																					
コスト		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">人件費</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>職員構成</th> <th colspan="2">概算人件費 (平均給与×従事職員数)</th> <th>従事職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (H30年度決算額)</td> <td>500 千円</td> <td>担当正規職員</td> <td colspan="2">1,397 千円</td> <td>0.2 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>嘱託職員</td> <td colspan="2">千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>1,397 千円</td> <td>再任用(フル)</td> <td colspan="2">千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>再任用(ハーフ)</td> <td colspan="2">千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>1,897 千円</td> <td>任期付職員</td> <td colspan="2">千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>臨時職員</td> <td colspan="2">千円</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>								人件費						職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	事業費 (H30年度決算額)	500 千円	担当正規職員	1,397 千円		0.2 人			嘱託職員	千円		人	人件費	1,397 千円	再任用(フル)	千円		人			再任用(ハーフ)	千円		人	総計	1,897 千円	任期付職員	千円		人			臨時職員	千円		人
		人件費																																																					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数																																																		
事業費 (H30年度決算額)	500 千円	担当正規職員	1,397 千円		0.2 人																																																		
		嘱託職員	千円		人																																																		
人件費	1,397 千円	再任用(フル)	千円		人																																																		
		再任用(ハーフ)	千円		人																																																		
総計	1,897 千円	任期付職員	千円		人																																																		
		臨時職員	千円		人																																																		
評価指標 (事業実績)		指標名	単位	H30年度	H29年度	H28年度																																																	
		CCS講演会「地球温暖化とCCS」	人	368	315	312																																																	
		子ども実験教室・夏休み宿題教室	人	152	211	81																																																	
		現場視察会	人	15	10	22																																																	
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																																				
		事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																																				
自己評価の理由		平成30年度は順調に二酸化炭素の圧入が継続され、累計23万トンを超える二酸化炭素が圧入されました。また、国内外から2,276名の見学者が訪れ、産業観光のルートにも組み込まれるなど、大きな注目を集めています。また、経済産業省や関係機関とも連携し、CCSに対する理解を深めていただけるよう、情報発信・周知活動に取り組みました。																																																					
事業の課題、今後の方向性等		国によるCCS実用化の状況を注視しつつ、事業展開に関連した情報収集等に努め、更なる実証試験の可能性等についても、国や関係機関と協議してまいります。また、関連する研究機関・産業の誘致の可能性等について、検討してまいります。																																																					
特記事項																																																							



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010204

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
苦小牧水素エネルギープロジェクト事業 産業経済部港湾・企業振興課		196	千円	千円	千円	千円	196 千円
根拠法令							
実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金							
事業の目的・対象		水素エネルギーは、将来の二次エネルギーの中心的役割を担うことが期待されています。このような情勢のもと、新たな産業展開、雇用創出など地域経済活性化に向けた取組を推進します。					
事業の必要性		本市は、ものづくり産業の集積地であることに加え、物流拠点やエネルギー供給基地としての機能を有しているため、地域の特性を活かした水素の利活用やサプライチェーン構築の検討等を行います。					
事業の内容		<p>・水素エネルギープロジェクト会議及び関連会議の開催・事業可能性検討 産学官が一体となって水素エネルギーを活用した地域づくりを推進するため、国や北海道と連携し、関連会議を開催したほか、先進事例に係る情報収集等を行いました。 会議では先進的取組を進めている企業や自治体から講演をいただくなど、市内における水素社会構築に向けた機運の醸成を図りました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>					
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	196 千円	担当正規職員	1,397 千円		0.2 人		
人件費	1,397 千円	嘱託職員	千円		人		
		再任用 (フル)	千円		人		
		再任用 (ハーフ)	千円		人		
		任期付職員	千円		人		
総 計	1,593 千円	臨時職員	千円		人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度	
	水素エネルギー関連会議の開催		回	2	2	2	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）		<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由		平成30年度は、国内での先進的な事例について情報収集を行ったほか、国や北海道と連携した会議を市内で開催し、本市の優位性を活かした水素の利活用やサプライチェーン構築に向け、情報収集や意見交換を行いました。					
事業の課題、今後の方向性等		水素エネルギー関連の取組は長期的な視点での対応が必要と考えておりますが、今後も先進自治体や関連企業との意見交換などを行い、水素の利活用やサプライチェーン構築に向けて、取組を進めてまいります。					
特記事項							



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010205

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳																																									
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源																																						
立地企業サポート事業		58,429 千円		千円	千円	5,058 千円	53,371 千円																																						
産業経済部港湾・企業振興課																																													
根拠法令																																													
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																																													
事業の目的・対象		雇用機会の創出と雇用の安定化を目的として、市内に事業所を有する企業等を対象に、人材確保への支援や雇用環境改善に係る補助や支援を行います。																																											
事業の必要性		国内需要の縮小や人口減少などの背景を踏まえ、地域経済を支える立地企業をサポートしていく必要があります。人手不足・人材確保等、立地企業が抱えている課題やニーズに対して持続的に支援を行うことで、地域経済の活性化につなげます。																																											
事業の内容		<p>市内の立地企業を対象に、従業員の定着率の向上や雇用の安定化を目的とした労働環境の改善のための設備投資や、経営の安定化を目的とした展示会や商談会への出展経費、人材の確保を目的とした就職説明会への出展経費に対して、補助を行います。</p> <p>また、製造業等の労働力市場の開拓、有能な人材の確保や定住促進のため、市内企業を対象とした市外での合同就職説明会の開催等を行います。</p> <p>&lt;事業イメージ&gt;</p>																																											
コスト		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費 (H30年度決算額)</th> <th rowspan="2">金額</th> <th colspan="3">人件費</th> </tr> <tr> <th>職員構成</th> <th>概算人件費 (平均給与×従事職員数)</th> <th>従事職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">事業費</td> <td rowspan="6">58,429 千円</td> <td>担当正規職員</td> <td>4,191 千円</td> <td>0.6 人</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>再任用 (フル)</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>再任用 (ハーフ)</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>2,278 千円</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>6,469 千円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>64,898 千円</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>						事業費 (H30年度決算額)	金額	人件費			職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	事業費	58,429 千円	担当正規職員	4,191 千円	0.6 人	嘱託職員	千円	人	再任用 (フル)	千円	人	再任用 (ハーフ)	千円	人	任期付職員	千円	人	臨時職員	2,278 千円	1 人	人件費	6,469 千円				総計	64,898 千円			
事業費 (H30年度決算額)	金額	人件費																																											
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数																																									
事業費	58,429 千円	担当正規職員	4,191 千円	0.6 人																																									
		嘱託職員	千円	人																																									
		再任用 (フル)	千円	人																																									
		再任用 (ハーフ)	千円	人																																									
		任期付職員	千円	人																																									
		臨時職員	2,278 千円	1 人																																									
人件費	6,469 千円																																												
総計	64,898 千円																																												
評価指標 (事業実績)		指標名	単位	H30年度	H29年度	H28年度																																							
		展示会や商談会への出展経費等の補助件数	件	15	8	12																																							
		合同就職説明会等への参加法人数	社	54	49	54																																							
		労働環境の改善等のための経費の補助件数	件	19	25	17																																							
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																										
		事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																										
自己評価の理由		本事業により、新規受注、従業員の新規採用、従業員の定着率の向上につながっています。																																											
事業の課題、今後の方向性等		人材の確保が課題となっていることから、平成30年度から市が主催する合同就職説明会の開催に加え、民間等が主催する就職説明会の参加への補助を実施しています。今後も継続的に立地企業との意見交換・情報共有を図り、より効果的な事業となるように制度を見直しながら、課題解決に向けて連携・協力・フォローアップを行います。																																											
特記事項																																													


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010206

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
苦小牧港PR促進事業		1,000 千円	千円	千円	千円	1,000 千円
産業経済部港湾・企業振興課						
根拠法令	苦小牧港PR促進事業補助要綱					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	みなとオアシス苦小牧運営協議会の活動に対する支援を強化することにより、交流人口や観光客等の増加を図り、苦小牧港の更なる魅力発信やにぎわいの創出を図ることを目的とします。（平成28年度より事業実施）					
事業の必要性	苦小牧港の魅力について様々な場面で発信することにより、より多くの方に苦小牧港について知ってもらい、にぎわいの創出につなげることで地域経済の活性化を図ります。					
事業の内容	<p>【みなとオアシス苦小牧運営協議会事業内容】※苦小牧港PR促進事業分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Sea級グルメ全国大会出展 平成30年8月25日～26日北海道紋別市開催</li> </ul> <p>ほっきカレーで出店参加し、準優勝を受賞</p> 					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	1,000 千円	担当正規職員	699 千円		0.1 人	
人件費	699 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用(フル)	千円		人	
総計	1,699 千円	再任用(ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	Sea級グルメブース来場者		人	952 (紋別市)	1,013 (魚津市)	909 (蒲郡市)
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	Sea級グルメ全国大会をはじめとするみなとオアシス運営協議会の事業において、苦小牧港の魅力について発信し、より多くの方に苦小牧港を知っていただく機会を設けることができました。					
事業の課題、今後の方向性等	苦小牧港の魅力について、より多くの方々に発信できるよう事業内容、活動内容について引き続き評価・検討を行ってまいります。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010207

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
テクノセンター機器整備事業		18,886 千円	千円	千円	千円	18,886 千円
産業経済部テクノセンター						
根拠法令	苫小牧市テクノセンター条例					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	目的：地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化に寄与するため、テクノセンター機器及び設備を整備し、その充実を図ります。 対象：地元中小企業					
事業の必要性	技術力向上を支援し、生産技術の高度化に寄与するため、基盤設備機器の計画的な更新と新技術に対応できる測定機器等の継続的な整備が必要です。					
事業の内容	1. 地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化を促進して産業振興を図るためには、継続的な基盤整備が必要であることから、平成16年度から計画的に設備更新と技術水準に対応した機器の導入を進めております。 2. 事業としては、材料関連（材料評価、非破壊検査など）、機械加工関連（機械加工、精密測定など）及びメカトロニクス関連（計測制御、システム開発）の3分野において実施しております。 3. 主な事業の内容は、次のとおりです。 ①設備機器の取扱指導及び利用開放を行っております。 ②企業からの依頼による材料試験、精密測定及び非破壊検査を行い、成績書を発行しております。 ③企業の技術力向上に資するため、技術相談や技術指導を行っております。また、技術研修会や技術講習会を随時開催しております。					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	18,886 千円	担当正規職員	10,478 千円	1.5	人	
人件費	14,416 千円	嘱託職員	3,938 千円	1.2	人	
		再任用 (フル)	千円		人	
総 計	33,302 千円	再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	H29年度	H28年度	
	機器利用・依頼試験	件	1,668	1,106	1,016	
	技術相談・技術指導	回	52	96	81	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	企業による機器利用や依頼試験の件数は1,600件を超え、地域のニーズに応じていると評価できます。また、研修会の参加人数も200人以上を数え、技術力の向上に貢献していると考えられます。					
事業の課題、今後の方向性等	苫小牧地域の企業においては、競争力強化のための技術力向上やコスト削減が求められており、なお一層の技術支援や設備の充実が引き続き求められています。一方、設備機器が高機能化に伴い高額化していることから、国庫補助金などの利用も検討します。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010208

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
テクノセンター暖房空調設備改修工事		12,269 千円	9,000 千円	千円	千円	3,269 千円
産業経済部テクノセンター						
根拠法令	苫小牧市テクノセンター条例					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	目的：地域企業に対するテクノセンターの技術支援業務を安定的に継続して行うこと、及び評価試験作業に対する信頼性をより一層向上させることを目的としています。 対象：テクノセンター					
事業の必要性	テクノセンターは建築後20年が経過して暖房及び空調設備の老朽化が進み、当該設備の更新が必要となっており、円滑かつ安定的なセンター機能を維持するため、平成28～30年度の3ヶ年で改修を行うものです。また、産業用X線CTシステムの機能を維持するため、定期保守点検と合わせて定期部品交換を行うものです。					
事業の内容	1. 暖房空調設備改修工事 ①材料試験室空調機設置 ②空調機器更新 ③ポンプ類更新 ④自動制御機器更新 ⑤機械加工室系統空調機整備  2. 産業用X線CTシステム定期部品交換等 ①真空ポンプ交換 ②タングステンターゲット交換 ③定期保守点検					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	12,269 千円	担当正規職員	1,397 千円	0.2	人	
人件費	1,725 千円	嘱託職員	328 千円	0.1	人	
総 計	13,994 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	平成28年度から30年度の3ヶ年にかけて実施した暖房空調設備改修工事が完了し、安定的でより精度の高い空調が実現できるようになりました。また、産業用X線CTシステムは、定期部品交換により安定的に機能を維持しており、利用増に結びついています。					
事業の課題、今後の方向性等	老朽化が進む設備や機器の故障により、利用者に影響を及ぼすことがないように、計画的に改修工事等を実施し、技術支援業務を安定的に継続します。					
特記事項						



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 2企業立地推進費

事務事業番号 07010209

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
戦略的基盤技術高度化支援事業		1,297 千円		千円	千円	1,297 千円	千円
産業経済部テクノセンター							
根拠法令	中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	目的：デザイン開発、精密加工、立体造形等の12の基盤技術の向上につながる研究開発その試作等の取組を支援し、中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図ることを目的としています。 対象：地域中小企業						
事業の必要性	製造業の競争力の強化と新たな事業の創出のためには中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図ることが必要です。						
事業の内容	経済産業省補助事業（10/10補助） 事業名：ステンレス鋼のファイバーレーザー溶接ロボットによる低ひずみ・高強度技術の研究開発 内容：IoT生産管理システムに、ステンレス鋼のファイバーレーザーロボット溶接システムを組み込み、従来方法では製造困難な製品を試作し、高精度・省力化手法を検討します。さらに、実製造現場で活用可能な自動溶接条件マップを作成し、中小企業の生産性向上を図ることを目標にしています。 事業期間：平成30年度～令和2年度（3年間） 事業管理機関：（公財）北海道科学技術総合振興センター 研究実施機関：（株）ワールド山内 室蘭工業大学 苫小牧市テクノセンター						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	1,297 千円	担当正規職員	2,794 千円		0.4 人		
人件費	4,763 千円	嘱託職員	1,969 千円		0.6 人		
		再任用(フル)	千円		人		
総計	6,060 千円	再任用(パート)	千円		人		
		任期付職員	千円		人		
		臨時職員	千円		人		
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	H30年度	H29年度	H28年度
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	少子高齢化による技術者不足が社会問題となる中で、IoT生産管理システムやロボットを活用した溶接作業の高度化・自動化に関する最新の研究で得られた知見を用いることにより、今後の地域企業に対する技術支援を高いレベルで実施することができると考えられます。						
事業の課題、今後の方向性等	現在は、本分野において全国的にも先進的な取組を行っている市外企業を支援対象としておりますが、今後、本技術開発の成果を市内企業の競争力強化につなげていくための技術支援法についての検討が必要となります。						
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010301

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳																																														
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源																																											
港まつり事業		5,000 千円		千円	千円	千円	5,000 千円																																											
産業経済部観光振興課																																																		
根拠法令																																																		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																																																
事業の目的・対象		市内最大のイベントである「とまこまい港まつり事業」に対する補助金です。																																																
事業の必要性		例年多くの市民の皆さんが参加され、大いに楽しまれており、ふれあいや隣人愛、郷土愛を育む市民あげてのまつりであるため必要です。																																																
事業の内容		①中央公園（若草町）のメイン会場では、ステージ行事を始め、約150店舗の露店や、各会場での協賛などにより、平成30年度の来場者は35万人でした。																																																
		②市民おどりは、地元苫小牧出身ものまねタレント「羽生ゆずれない」の凱苦パレードにより、新たな誘客につながりました。																																																
						③ステージ行事では、『はじめあきらとつくもちゃん「ピカ☆ちんタイム」ステージ』や恒例の「駒澤大学附属苫小牧高等学校吹奏楽局」のステージを実施し、超満員のにぎわいを見せました。																																												
コスト		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="4">人件費</th> </tr> <tr> <th>職員構成</th> <th>概算人件費 (平均給与×従事職員数)</th> <th colspan="2">従事職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事業費 (H30年度決算額)</td> <td>5,000 千円</td> <td>担当正規職員</td> <td>13,970 千円</td> <td>2</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>嘱託職員</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>16,712 千円</td> <td>再任用 (フル)</td> <td>920 千円</td> <td>0.2</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再任用 (ハーフ)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">総 計</td> <td>21,712 千円</td> <td>任期付職員</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>臨時職員</td> <td>1,822 千円</td> <td>0.8</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>								人件費				職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		事業費 (H30年度決算額)	5,000 千円	担当正規職員	13,970 千円	2	人		嘱託職員	千円		人	人件費	16,712 千円	再任用 (フル)	920 千円	0.2	人		再任用 (ハーフ)	千円		人	総 計	21,712 千円	任期付職員	千円		人		臨時職員	1,822 千円	0.8	人
		人件費																																																
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数																																														
事業費 (H30年度決算額)	5,000 千円	担当正規職員	13,970 千円	2	人																																													
		嘱託職員	千円		人																																													
人件費	16,712 千円	再任用 (フル)	920 千円	0.2	人																																													
		再任用 (ハーフ)	千円		人																																													
総 計	21,712 千円	任期付職員	千円		人																																													
		臨時職員	1,822 千円	0.8	人																																													
評価指標 (事業実績)		指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度																																											
		来場者		人	350,000	353,000	364,000																																											
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																														
		事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																														
自己評価の理由		市民に定着している本市最大のイベントです。平成30年度の初日は晴天に恵まれ、メイン会場・花火会場ともに昨年以上のにぎわいを見せました。2日目16時頃から降り始めた雨により、夕方以降の客足に影響しましたが、35万人の来場者となり、事業の有効性は高いと考えています。																																																
事業の課題、今後の方向性等		これまでの事務局機能を含めた事業内容等を検証するとともに、港まつりを含む各種イベント事務局機能の新たな方向性を検討します。																																																
特記事項																																																		

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010302

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
スケートまつり事業		5,700 千円	千円	千円	千円	5,700 千円
産業経済部観光振興課						
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		冬の一大イベントである「とまこまいスケートまつり事業」に対する補助金です。				
事業の必要性		スケートの街『氷都とまこまい』を市内外にPRする冬の一大イベントで、市民はもちろん、市外からもたくさんの方が訪れています。特に「しばれ焼き」は苫小牧を代表する名物として広くみんなから愛され、子どもたちが楽しめるアトラクションも多く、家族で楽しめる内容になっています。半世紀にもわたり市民に親しまれるイベントで事業の必要性は非常に高くなっています。				
事業の内容		<p>①中央公園（若草町）のメイン会場では、ステージ行事を始め、約50店舗の露店や、各会場での協賛などにより、平成30年度の来場者は5万5千人でした。</p>  <p>②市民参加型企画のウルトラウインタークイズと北海道胆振東部地震チャリティービンゴ大会は、非常に好評でした。</p> 				
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	5,700 千円	担当正規職員	10,478 千円		1.5 人	
		嘱託職員	千円		人	
人件費	12,537 千円	再任用 (フル)	920 千円		0.2 人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
総計	18,237 千円	任期付職員	千円		人	
		臨時職員	1,139 千円		0.5 人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	来場者		人	55,000	55,000	57,000
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	市民に定着している本市の冬の一大イベントです。平成30年度は前年度増減なしの5万5千人の来場となり、事業の有効性は高いと考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	事務局機能の一部外部委託（ステージ行事、協賛店の出店要請・調整）を実施し、開催準備及び当日の運営に関する業務が軽減され、本来の観光振興業務の充実を図ることができました。					
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010303

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳																																																	
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源																																														
たるまえサンフェスティバル事業 産業経済部観光振興課		2,850	千円	千円	千円	千円	2,850 千円																																														
根拠法令																																																					
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																																																			
事業の目的・対象		「市民参加型のイベントのサンフェスティバル」を目指すとともに、来場者・協賛者・地域・主催者が共に参加し、楽しめるイベントとして位置付け、雄大な樽前山の麓にあるオートリゾート苫小牧アルテン「まきばの広場」のロケーションの素晴らしさを市民を含めた観光客に提供し、秋の休日を満喫していただきます。																																																			
事業の必要性		素晴らしいロケーションで、炭火のコンロで食すバーベキューは、市民も楽しみにしている秋のイベントとなっています。また、昼食時には長蛇の列ができる人気イベントです。来場者は市外からも多くの方が来場していることから、本市のPRにもなり、地域の活性化も含め、今後も必要なイベントです。																																																			
事業の内容		①ステージでは、歌やダンス、ジャンケン大会やお楽しみ抽選会などの参加型イベントが盛り沢山のステージを開催しました。 ②ステージ外イベントとして、サケのつかみ取りやキックザターゲット、こどもカフェ、バス展示・綱引き、カムイチェプノミなど、来場者が楽しめるイベントを開催しました。 ③バーベキューメニューは、道産和牛（100g）、樽前湧水豚（100g）、道産桜姫鳥（100g）をセットにして販売しました。 ④市営バスの鉄北北口線（03）の路線でワンコインバスを運行しました。																																																			
																																																					
コスト		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="4">人件費</th> </tr> <tr> <th>職員構成</th> <th>概算人件費 (平均給与×従事職員数)</th> <th colspan="2">従事職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (H30年度決算額)</td> <td>2,850 千円</td> <td>担当正規職員</td> <td>699 千円</td> <td>0.1</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>699 千円</td> <td>嘱託職員</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>再任用 (フル)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>再任用 (ハーフ)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>任期付職員</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>臨時職員</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>								人件費				職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		事業費 (H30年度決算額)	2,850 千円	担当正規職員	699 千円	0.1	人	人件費	699 千円	嘱託職員	千円		人			再任用 (フル)	千円		人			再任用 (ハーフ)	千円		人			任期付職員	千円		人			臨時職員	千円		人
		人件費																																																			
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数																																																	
事業費 (H30年度決算額)	2,850 千円	担当正規職員	699 千円	0.1	人																																																
人件費	699 千円	嘱託職員	千円		人																																																
		再任用 (フル)	千円		人																																																
		再任用 (ハーフ)	千円		人																																																
		任期付職員	千円		人																																																
		臨時職員	千円		人																																																
評価指標 (事業実績)		指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度																																														
		来場者		人	31,000	28,000	26,000																																														
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																																	
		事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																																	
自己評価の理由		樽前山の麓で開催されるこのイベントは、会場からのロケーションは素晴らしく、バーベキューを楽しみながら、最高の環境と高い評価をいただいています。																																																			
事業の課題、今後の方向性等		この素晴らしいロケーションを広くPRするとともに、札幌圏を中心とする市外への情報発信にも努めていきます。																																																			
特記事項																																																					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010304

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
苦小牧市大会等誘致推進協議会補助 産業経済部観光振興課		600	千円	千円	千円	千円	600 千円
根拠法令							
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金							
事業の目的・対象		スポーツや文化の合宿や大会など積極的に誘致・推進することにより、地域経済の活性化と対外的イメージアップに寄与します。					
事業の必要性		合宿や大会などを開催することで、多大な経済波及効果が生まれるため、今後も継続が必要です。					
事業の内容		<p>①広報活動として、各種団体等へ大会開催状況調査などを行っているほか、歓迎ステッカーを作成し、市内宿泊施設や公共施設、JR苦小牧駅構内にある大会・合宿歓迎看板などへ掲示を行いPRしています。</p> <p>②誘致推進事業として、関西・関東方面にアイスホッケーと陸上競技関係の大学、実業団などへ合宿誘致セールスを継続しています。また、合宿など実施いただいた際の助成制度の紹介や差し入れなども行い、誘致に必要となる各種要望活動も行っています。</p>					
		 <p>平成27年5月供用開始 緑ヶ丘公園陸上競技場（第3種公認球場へ改修）</p>  <p>白鳥王子アイスリナー</p>  <p>平成28年10月竣工 新とぎわスケートセンター</p>					
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	600 千円	担当正規職員	699 千円		0.1 人		
人件費	699 千円	嘱託職員	千円		人		
		再任用 (フル)	千円		人		
		再任用 (ハーフ)	千円		人		
		任期付職員	千円		人		
総計	1,299 千円	臨時職員	千円		人		
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	H30年度	H29年度	H28年度
	延べ宿泊者数			人	10,878	6,680	10,848
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	団体での合宿は長期間での宿泊者数が多く、地域経済の活性化に寄与するため、事業の効果は大きいものと考えています。						
事業の課題、今後の方向性等	今後の方向性としては、各施設の充実と練習環境の整備が必要となることから、関係部署と協議していきます。						
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010305

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
とまこまいフィルムコミッション事業		201	千円	千円	千円	千円	201 千円
産業経済部観光振興課							
根拠法令							
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象		各種撮影を通し、苫小牧を広くPRするため、映像製作者への各種支援を行い、本市におけるロケーション撮影が円滑に行われる環境を整え、支援を通じ地域振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とします。					
事業の必要性		各種撮影に伴う経済効果、それに伴う観光客の増加を大きく見込める事業であり、苫小牧の魅力発信という点においても重要な役割を担い、必要性は非常に高くなっています。					
事業の内容		①各種撮影支援を年間平均27件ほど行っています。 ②映像関係者や製作者に特化したロケ地への誘致及びPRを目的とした商談会である、ジャパンフィルムコミッション（JFC）ロケ地フェアに参加し、本市のPRを行っています。 ③観光振興課ホームページで活動報告などのPRを行っています。 ④各種要望等に応えるため、各関係機関と連携し、調整しながら事業を進めています。					
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	201 千円	担当正規職員	1,397 千円		0.2	人	
		嘱託職員	千円			人	
人件費	1,397 千円	再任用 (フル)	千円			人	
		再任用 (ハーフ)	千円			人	
総計	1,598 千円	任期付職員	千円			人	
		臨時職員	千円			人	
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	H30年度	H29年度	H28年度
	ロケ支援活動件数			件	30	24	29
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	この事業は、ロケ誘致等に成功した際の経済波及効果が大きく、また、本市の知名度向上に寄与するものと考えています。						
事業の課題、今後の方向性等	本市の自然や産業、交通アクセスの利便性の高さを様々な場面で積極的にPRするとともに、この事業に対する市民等の理解を深め、協力体制を常に構築できる環境の整備が必要です。						
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010306

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
苦小牧クルーズ振興協議会補助		1,000 千円		千円	千円	千円	1,000 千円
産業経済部港湾・企業振興課							
根拠法令							
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金							
事業の目的・対象		クルーズ船の寄港により、苦小牧港の新たな魅力を発信するとともに、乗船客に対する観光PRの展開とおもてなし機運の醸成を図ります。					
事業の必要性		クルーズ船文化の創造を図り、更なるクルーズ船の寄港につなげるとともに、苦小牧港の新たな魅力の発信と地域振興及び観光振興に寄与するためには、苦小牧クルーズ振興協議会における安定的な事業実施が必要不可欠です。					
事業の内容		<p>①クルーズ歓迎行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月14日（日）飛鳥Ⅱ JTB九州主催 飛鳥Ⅱで航く「北海道の紅葉とみちのくの紅葉をめぐる寛ぎの日本一周クルーズ」</li> <li>乗客：約610名 博多～秋田～苦小牧～大船渡～神戸～博多</li> <li>歓迎行事：カラーガードチーム「Let's」による演舞、歓迎セレモニー、ウトナイ湖巡回バスの運行、ほっき握り無償配布、アイヌ民族衣装試着、和光中・青翔中合同ブラスバンド演奏等</li> </ul> <p>②各種協議会・セミナーへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道クルーズ振興協議会総会</li> <li>・北海道における外国人クルーズ客対応方策検討会</li> <li>・ノーブルカレドニア社招請事業に合わせた意見交換会</li> <li>・平成30年度クルーズ船需要に対応する観光連携に関する検討会</li> </ul> <p>③クルーズ船誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船社等訪問</li> <li>・ノーブルカレドニア社キーパーソン招請事業</li> </ul>					
コスト		人件費					
				職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	1,000 千円			担当正規職員	699 千円	0.1	人
人件費	699 千円			嘱託職員	千円		人
				再任用（フル）	千円		人
				再任用（ハーフ）	千円		人
				任期付職員	千円		人
総計	1,699 千円			臨時職員	千円		人
評価指標 (事業実績)		指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
		クルーズ寄港回数		回	1	3	0
		苦人隊加入人数		人	239	290	286
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
		事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由		クルーズ船寄港の経済波及効果も期待できるため、寄港につながる本事業の効果は高いと考えています。					
事業の課題、今後の方向性等		邦船の継続的な寄港への働きかけと合わせ、海外船についても誘致を行っていきたく考えていますが、入港できる船が限られてしまうことや苦小牧の認知度の面など、難しい問題もあります。そのため、主に欧米船社の中・小型船をターゲットに、苦小牧の特色をアピールしながら誘致活動を行っていきます。					
特記事項							



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010307

事業名		H30年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
観光振興ビジョン推進事業		15,715 千円		千円	千円	10,654 千円	5,061 千円
産業経済部観光振興課							
根拠法令							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象		平成28年2月策定の「苫小牧観光振興ビジョン」に基づき、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指します。					
事業の必要性		交流人口の増加による地域経済の活性化を図るため、特産品やスポーツ施設、道の駅ウトナイ湖など、地域の魅力を有効に活用し、インバウンド拡大や情報発信の強化等に向けた幅広い事業の展開が必要です。					
事業の内容		<p>①観光事業者等支援事業：本市事業者への道外販路拡大の情報提供を行いながら、市外での出店補助を行い、本市への誘客促進につなげました。また、本市の産業施設等を撮影スポットとして開放するコスプレフェスタを開催することで、新たな経済波及効果がありました。さらに、スポーツ選手等に有効となるアスリートフードマイスターを養成することで、更なる合宿等の誘致を目指しています。</p> <p>②外国人観光客誘致事業：フェリー航路を活用した台湾からの招聘事業と、アジア圏の富裕層をターゲットとした道内のゴルフ場を紹介する招聘事業を行うことで、インバウンドの拡大を目指しています。また、外国人観光客誘致に必須となるWi-Fi整備に伴う補助と受入人材育成事業を行い、受入環境の整備を進めています。</p> <p>③観光誘客促進業務委託事業：本市の特色ある産業を観光資源とした花火&amp;産業夜景バスツアーを開催したほか、本市事業者とともに道外の商談会参加や旅行事業者を訪問するなど、誘客促進活動を行いました。</p> <p>④観光案内業務強化事業：道の駅ウトナイ湖において、観光案内所を開設し、本市の魅力を効果的に発信するとともに、市内観光施設への誘客促進を図りました。</p> <p>⑤観光情報発信強化事業：本市の魅力を広く情報発信し、国内外からの観光入込客の更なる増加を図るため、雑誌やメディアを活用した観光情報の発信力強化を図りました。</p>					
コスト				人件費			
				職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	15,715 千円	}		担当正規職員	9,779 千円	1.4	人
人件費	9,779 千円			嘱託職員	千円		人
総 計	25,494 千円			再任用 (フル)	千円		人
				再任用 (ハーフ)	千円		人
				任期付職員	千円		人
				臨時職員	千円		人
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	H30年度	H29年度	H28年度
	観光入込客数			万人	199.5	199.5	193.3
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）			<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）			<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	この事業を進めることで、他市との連携や、海外からの招聘事業など、本市を幅広くPRすることができ、観光振興ビジョンを推進していく上で、非常に効果が高いと考えています。						
事業の課題、今後の方向性等	今後の課題は、更なる情報発信を進め、外国人を含む交流人口の増加を目指し、観光振興ビジョンを推進していきます。						
特記事項							



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 7商工費

項 1商工費

目 3観光費

事務事業番号 07010308

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
ウトナイ交流センター展望施設整備事業 産業経済部観光振興課		175,897 千円	45,264 千円	123,900 千円	6,733 千円	0 千円
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		苦小牧市ウトナイ交流センターに展望施設を整備することにより、同センターの集客力向上による地域の活性化を促進します。				
事業の必要性		新千歳空港の24時間運用拡大に伴う航路下地域との合意事項に基づき、植苗地区の地域振興対策として、苦小牧市ウトナイ交流センターに、地域の要望を踏まえた展望施設を早急に整備する必要があります。				
事業の内容		新千歳空港の24時間運用拡大に伴う地域振興対策として、平成31年3月20日に、ウトナイ交流センターに展望施設を開設しました。				
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	175,897 千円	担当正規職員	1,397 千円		0.2 人	
人件費	1,397 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	177,294 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	ウトナイ交流センター来場者数		万人	74	76	79
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由		地域振興対策の早期実現に向け、地域や関係団体等の意見・要望を伺いながら整備を進めていくことで、地域との信頼関係がより強固なものになるとともに、観光施設としての機能強化につながることから、非常に効果が高いと考えています。				
事業の課題、今後の方向性等		展望施設の魅力をPRし、ウトナイ交流センターの来場者数の増加を図ります。				
特記事項						